



平成29年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成28年10月11日

上場会社名 コーナン商事株式会社

上場取引所 東

コード番号 7516 URL <http://www.hc-kohnan.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 疋田 直太郎

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役・上席執行役員 (氏名) 宮永 俊一郎 TEL 072 (274) 1621

管理統括本部長(兼) 総合企画本部長

四半期報告書提出予定日 平成28年10月12日

配当支払開始予定日 平成28年11月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年2月期第2四半期の業績（平成28年3月1日～平成28年8月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年2月期第2四半期	157,653	1.5	10,023	17.3	9,291	22.9	3,373	0.2
28年2月期第2四半期	155,324	2.5	8,545	3.9	7,557	1.0	3,366	△22.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年2月期第2四半期	97.28	97.25
28年2月期第2四半期	97.07	97.04

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年2月期第2四半期	289,029	95,339	33.0	2,749.07
28年2月期	289,748	92,478	31.9	2,666.57

(参考) 自己資本 29年2月期第2四半期 95,339百万円 28年2月期 92,478百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年2月期	—	19.00	—	19.00	38.00
29年2月期	—	22.00	—	—	—
29年2月期(予想)	—	—	—	22.00	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

29年2月期中間配当金の内訳 普通配当 21円00銭 記念配当 1円00銭

3. 平成29年2月期の業績予想（平成28年3月1日～平成29年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	309,520	2.2	16,700	14.6	15,200	17.7	7,100	17.5	204.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年2月期2Q	34,682,113株	28年2月期	34,682,113株
② 期末自己株式数	29年2月期2Q	1,438株	28年2月期	1,297株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年2月期2Q	34,680,768株	28年2月期2Q	34,681,271株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 当社は、平成28年10月11日（火）及び10月13日（木）に機関投資家向け説明会を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
4. 補足情報	8
商品部門別売上高明細表	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期におけるわが国経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば底堅い動きとなっております。先行きについては、英国のEU離脱問題など、海外経済の不確実性の高まりや金融資本市場の変動の影響が懸念され、不透明な状況が続いております。

なお、当社店舗がドミナント展開している関西圏の景気は、このところの円高を背景に輸出企業において各国・地域向けで落ち込みがみられます。また、個人消費についても、労働需給は改善しているものの、一人当たり賃金の回復ペースが鈍く、力強さに欠ける動きとなっております。

そのような中、当社は、前事業年度にツイーターボ大作戦として掲げたテーマである、既存店の活性化と在庫の削減への取組みを推し進め、計画2年目にあたる当期においても、収益性及び財務体質は改善傾向にあります。

店舗拡充の分野では、当第2四半期累計期間にホームセンター2店舗、コーナンプロを3店舗出店した他、ホームセンター4店舗を閉店したため、8月末現在の店舗数は314店舗（ホームセンター262店舗、コーナンプロ52店舗）となりました。

これらの結果、当第2四半期累計期間の営業収益は157,653百万円（前年同四半期比1.5%増）となりました。商品部門別では、食品や薬品、ペット用品などは高い伸びとなりましたが、履物・衣料用品、収納用品などは低調に推移しました。また、円高を背景とした値入率の改善などにより、売上総利益率は36.5%と前年同四半期比0.8%向上し、売上総利益は55,013百万円（前年同四半期比3.8%増）となりました。営業収入は6,768百万円

（前年同四半期比2.4%減）、販売費及び一般管理費は51,758百万円（前年同四半期比0.8%増）となり、営業利益は10,023百万円（前年同四半期比17.3%増）となりました。

経常利益は、営業利益が増加したことにより9,291百万円（前年同四半期比22.9%増）となりましたが、減損損失を3,562百万円計上したことから、四半期純利益は3,373百万円（前年同四半期比0.2%増）にとどまりました。

(2) 財政状態に関する説明

(財政状態の変動状況)

当第2四半期会計期間末の総資産は前期末より719百万円減少し、289,029百万円となりました。在庫削減への取組み強化により商品及び製品が3,836百万円減少した一方で、新規出店などに伴い建物が1,295百万円増加した他、無形固定資産増が562百万円増加したことなどによります。

当第2四半期会計期間末の純資産は95,339百万円で、自己資本比率は前期末より1.1%向上し33.0%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べ712百万円減少し、7,787百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期純利益が5,888百万円にとどまったものの、仕入債務の増加額が3,057百万円、たな卸資産の減少額が3,849百万円となったことなどにより、14,545百万円の収入（前年同四半期比5.9%増）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、新規出店等に伴う有形固定資産の取得による支出4,278百万円、無形固定資産の取得による支出799百万円、差入保証金の差入による支出757百万円、関係会社株式の取得及び関係会社出資金の払込による支出が1,864百万円あったことなどにより7,308百万円の支出（前年同四半期比161.7%増）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、セール・アンド・割賦バックによる収入1,520百万円がありましたが、借入金の純減少額7,043百万円、割賦債務の返済による支出1,175百万円、配当金の支払額659百万円の支出などにより、7,949百万円の支出（前年同四半期比31.3%減）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績見込みとしては、営業収益309,520百万円(前期比2.2%増)、営業利益16,700百万円（前期比14.6%増）、経常利益15,200百万円(前期比17.7%増)、当期純利益7,100百万円(前期比17.5%増)と見込んでおります。上記金額には、消費税等は含まれておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成28年2月29日)	当第2四半期会計期間 (平成28年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,518	7,805
売掛金	3,993	4,578
商品及び製品	65,353	61,516
原材料及び貯蔵品	669	656
繰延税金資産	1,484	1,372
その他	5,286	6,934
貸倒引当金	△262	△276
流動資産合計	85,044	82,588
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	85,806	87,102
土地	28,546	27,808
リース資産(純額)	25,009	22,888
建設仮勘定	1,421	1,250
その他(純額)	8,479	8,795
有形固定資産合計	149,264	147,844
無形固定資産	5,596	6,159
投資その他の資産		
投資有価証券	549	681
差入保証金	44,782	44,756
繰延税金資産	811	1,559
その他	3,733	5,470
貸倒引当金	△33	△30
投資その他の資産合計	49,842	52,436
固定資産合計	204,703	206,440
資産合計	289,748	289,029
負債の部		
流動負債		
買掛金	22,115	25,172
短期借入金	6,000	—
1年内返済予定の長期借入金	26,624	25,513
リース債務	1,116	1,211
未払法人税等	2,818	3,470
賞与引当金	1,351	1,330
役員賞与引当金	105	—
その他	11,329	11,057
流動負債合計	71,459	67,755
固定負債		
長期借入金	72,794	72,862
リース債務	25,452	25,560
受入保証金	13,323	13,001
商品自主回収関連損失引当金	2,261	2,112
資産除去債務	5,788	5,918
その他	6,189	6,477
固定負債合計	125,809	125,933
負債合計	197,269	193,689

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成28年2月29日)	当第2四半期会計期間 (平成28年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,658	17,658
資本剰余金	17,921	17,921
利益剰余金	56,874	59,589
自己株式	△1	△2
株主資本合計	92,452	95,166
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	42	174
繰延ヘッジ損益	△16	△1
評価・換算差額等合計	26	172
純資産合計	92,478	95,339
負債純資産合計	289,748	289,029

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成28年3月1日 至 平成28年8月31日)
売上高	148,392	150,885
売上原価	95,409	95,871
売上総利益	52,983	55,013
営業収入	6,931	6,768
販売費及び一般管理費	51,369	51,758
営業利益	8,545	10,023
営業外収益		
受取利息	63	57
受取配当金	26	14
助成金収入	67	—
為替差益	61	246
匿名組合投資利益	100	121
その他	86	98
営業外収益合計	406	539
営業外費用		
支払利息	1,237	1,138
その他	156	132
営業外費用合計	1,394	1,271
経常利益	7,557	9,291
特別利益		
受入保証金解約益	109	213
投資有価証券売却益	153	—
その他	—	0
特別利益合計	262	214
特別損失		
減損損失	2,201	3,562
その他	8	53
特別損失合計	2,210	3,616
税引前四半期純利益	5,610	5,888
法人税、住民税及び事業税	2,069	3,157
法人税等調整額	174	△642
法人税等合計	2,243	2,514
四半期純利益	3,366	3,373

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	5,610	5,888
減価償却費	4,321	4,453
のれん償却額	82	82
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	△105
商品自主回収関連損失引当金の増減額 (△は減少)	△514	△149
投資有価証券売却損益 (△は益)	△153	—
受入保証金解約益	△109	△213
減損損失	2,201	3,562
受取利息及び受取配当金	△90	△72
支払利息	1,237	1,138
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,342	△585
たな卸資産の増減額 (△は増加)	3,637	3,849
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,112	3,057
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△210	△1,368
その他	△776	△1,211
小計	16,007	18,327
利息及び配当金の受取額	29	16
利息の支払額	△1,256	△1,130
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△1,048	△2,668
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,732	14,545
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,772	△4,278
無形固定資産の取得による支出	△914	△799
関係会社株式の取得による支出	—	△1,433
関係会社出資金の払込による支出	—	△430
投資有価証券の売却及び償還による収入	475	—
差入保証金の差入による支出	△778	△757
差入保証金の回収による収入	2,365	750
預り保証金の受入による収入	413	190
預り保証金の返還による支出	△319	△326
その他	△260	△224
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,792	△7,308
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	14,500	—
短期借入金の返済による支出	△24,500	△6,000
長期借入れによる収入	14,000	13,000
長期借入金の返済による支出	△14,979	△14,043
リース債務の返済による支出	△535	△591
セール・アンド・割賦バックによる収入	2,014	1,520
割賦債務の返済による支出	△1,253	△1,175
社債の償還による支出	△156	—
配当金の支払額	△659	△659
その他	△0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,570	△7,949
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△630	△712
現金及び現金同等物の期首残高	4,980	8,499
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,349	7,787

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

4. 補足情報

商品部門別売上高明細表

商品部門別	金額 (百万円)	前年同期比 (%)
ホームインプロブメント (DIY用品)	59,050	102.1
ハウスキーピング (家庭用品)	61,028	100.8
ペット・レジャー (ペット・レジャー用品)	28,581	102.2
その他	2,225	108.1
合計	150,885	101.7

(注) 1. 商品部門別の各構成内容は、次のとおりであります。

- (1) ホームインプロブメント (木材、建材、工具、建築金物、塗料・作業用品、園芸用品、園芸植物、資材、エクステリア、水道、住設機器、リフォーム)
- (2) ハウスキーピング (ダイニング用品、インテリア、電材・照明、日用品、収納用品、薬品、履物・衣料、家庭雑貨品、家電、介護用品、フード、酒類)
- (3) ペット・レジャー (カー用品、ペット用品、文具・事務用品、サイクル・レジャー用品)
- (4) その他 (バラエティグッズ、書籍、自動販売機、灯油)

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。